

1 活動のねらい

手話や車イスなどの活動をとおして、障害を持つ人々の日常生活での不自由さを学習することができます。障害を持つ人々に対する理解を深めると同時に、介助の方法を学ぶことができ、ノーマライゼーション社会実現のための意欲と態度の育成に役立ちます。



2 活動の概要

(1) 車イス

2人1組となり、1人は車イスに乗り、もう1人が介助者となり、コースを1周します。
3人1組の場合、3人目は観察者となり、気がついた点を他の2人に伝えます。

(2) 目かくし歩行

2人1組となり、1人はアイマスクと白杖をつけ、もう1人が介助者となります。
介助者は自分のひじを体験者につかませ、半歩前を歩き、コースを1周します。

(3) 点字

点字の歴史や読み方を学び、簡易点字器で点字を書く体験をします。

(4) 手話

手話による簡単な挨拶や会話を学びます。

3 人数・時間・場所

活動の種類	人数	対象	活動時間	期間	場所
車イス	30人以内	小学生	1時間	通年	交流の家（屋内・屋外）
目かくし歩行	100人以内	4年生以上			
点字	50人以内	中学生以上	1.5時間		交流の家研修室
手話	100人以内				

*人数、活動時間についてはご相談ください。

4 指導について

(1) 車イスと目かくし歩行は、基本的に団体の自主活動となります。

なお、依頼のある場合は、交流の家職員が指導を行います。引率者の協力が必要となります。

(2) 点字と手話は、外部指導員が担当します。指導料が必要です。

★指導員を依頼する場合は、利用申込時、「指導依頼書」を提出願います。

★支払いは、活動終了後に現金又はコンビニ支払い（宿泊の場合）、郵便振込み（日帰りの場合）をしてください。

活動の種類	指導者	費用	貸出物品	備考
車イス	自主活動 (交流の家職員)	無料	車イス	10台まで
目かくし歩行			白杖・アイマスク	50セットまで
点字	指導員	7,700円	点字盤	50セットまで
手話		7,700円		

5 活動の流れ

(1) 車イス

活動の流れ	内 容
事前準備	・車イスの貸出
集 合	・利用者玄関付近に集合
活 動	・説明 ・体験 コース例（ピロティ→玄関外→障害者用トイレ→宿泊棟ベッド →ピロティ） ・振り返り
終 了	・終了後、物品返却

(2) 目かくし歩行

活動の流れ	内 容
事前準備	・アイマスク、白杖の貸出
集 合	・ホール（研修室）に集合
活 動	・説明 ・体験 コース例（ホール→中央階段→3階廊下→事務室前階段→1階 廊下→ホール） ・振り返り
終 了	・終了後、物品返却

(3) 点字

活動の流れ	内 容
事前準備	・簡易点字器の貸出
集 合	・研修室に集合
活 動	・説明、体験、振り返り
終 了	・終了後、物品返却、指導料支払い

(4) 手話

活動の流れ	内 容
集 合	・研修室に集合
活 動	・説明、体験、振り返り
終 了	・終了後、指導料支払い

6 実施上の留意点

- (1) ねらいを達成させるために、十分な事前指導を行ってください。
- (2) 館内では走り回ったり大声を出すなど、他団体の研修の迷惑にならないようにしてください。
- (3) 雨天時の代替プログラムとしては不可。